

## 労働者の意識を明晰にせよ！そして組織せよ！

どの階級が革命を推しすすめているかを理解しなければならない。諸階級のいろいろな志向を、冷静に考慮しなければならない。資本家は、労働者とおなじ道をすすむことはできない。小経営主は、資本家を完全に信頼しきることもできないし、一挙に、全部、労働者との兄弟のように緊密な同盟へ踏みきることもできない。これらの階級の相違を理解してはじめて、革命の正しい道を見つけることができる。

そして、人民生活のあらゆる根本問題にかんするわが協議会の諸決定は、いろいろな階級の利害を正確に区別しており、資本家政府への信頼という政策のもとでは、あるいは資本家政府を支持するかぎりは、まったく袋小路からぬけだしえないことをしめしている。

情勢は、例のないほど困難である。活路は一つであり、しかもただ一つである。それは、上から下まで、全ロシアにわたって全国家権力を労働者・兵士・農民その他の代表ソヴェトの手へうつすことである。労働者階級へ権力のうつるばあいにはじめて、もしこの労働者階級を農民の大多数が支持するならば、他国の労働者の信頼を急速に取りもどすことを期待できるし、資本のくびきを打破し、犯罪的な諸国民屠殺という鉄の万力を粉碎する強大なヨーロッパ革命を期待することができる。労働者階級へ権力がうつるばあいにはじめて、もしこの労働者階級を農民の大多数が支持するならば、全勤労大衆がこの権力に心からの信頼をよせるであろうということ、資本家と地主の利益のためでなしに、勤労大衆の利益のために、人民生活全体を建てなおすよう、献身的な活動に、万人が一致して、一人の人のように立ちあがるであろうということに、かたい希望をよせることができる。このような献身的な活動がなければ、一人のこらず、あらゆる人々が大いに緊張して努力しなければ、生活を新しく建てなおす不屈の精神と決意がなければ、すべての労働者とすべての貧農のきわめて厳格な組織と同志的な規律がなければ、こういうことがなければ、活路はない。

戦争は全人類を破滅の瀬戸際に導いた。資本家は戦争へ引きこまれたが、そこからぬけだす力がない。全世界は破局に直面している。

労働者の同志諸君！ 二月～三月革命の光栄ある時期におけるよりもいっそう大きな、新しい英雄精神——しかも幾百千万人の英雄精神——を、もろもろの事件が諸君にたいして要求するときが近づきつつある。準備をととのえよ。

準備をととのえよ、そして記憶せよ。諸君が、資本家といっしょに、数日のうちに、人民の憤りの爆発だけで勝利することができたとしても、資本家をむこうにまわし、資本家にたいして勝利するために必要なものは、それだけではないということ。このような勝利のためには、労働者と貧農が権力を奪取するためには、権力を保持するためには、それをたくみに行使するためには、一にも、二にも、三にも組織が必要である。

わが党は、自分の力のおよぶことによって、なによりもまず、さまざまな階級のさまざまな地位と勢力について、意識を明晰にすることによって、諸君をたすける。わが協議会の諸決定は、このことにあてられている。この明晰な意識がなければ、組織はないも同然である。組織がなければ、幾百万人の行動は不可能であり、どのような成功もおぼつかない。

言葉を信用するな。約束に心をうばわれぬようにしよう。自分の力を過大視するな。各工場、各連隊、各中隊、各街区に、組織をつくれ。毎日、毎時間組織のことに取りくめ。自分で活動せよ。この活動を第三者のだれにも下請けさせてはならない。先進的な労働者にたいする大衆の完全な信頼が、しだいに、しっかりと、うちこわせないように、つくりあげられていくような活動を目指せよ。これが、わが協議会の全決定の基本的な内容である。これが、革命の経過全体のおもな教訓である。これが成功の唯一の保証である。

労働者の同志諸君！ われわれは、万国の自覚した革命的プロレタリアートを結束させる困難な、真剣な、倦むことのない活動を諸君に呼びかける。この道が、そしてこの道だけが、活路へ導き、戦争の惨禍から、資本のくびきからの人類の救済へ導くのである。

第 24 卷 P324~326 『ロシア社会民主労働党(ボ)第7回(四月)全国協議会決議集の序文』  
新聞『ソルダーツカヤ・プラウダ』第 13 号付録、1917 年 5 月 16 日 (3 日)

## ポイント

どの階級が革命を推しすすめているかを理解しなければならない。諸階級のいろいろな志向を、冷静に考慮しなければならない。資本家は、労働者とおなじ道をすすむことはできない。小経営主は、資本家を完全に信頼しきることもできないし、一挙に、全部、労働者との兄弟のように緊密な同盟へ踏みきることもできない。これらの階級の相違を理解してはじめて、革命の正しい道を見つけることができる。

資本家と地主の利益のためでなしに、勤労大衆の利益のために、人民生活全体を建てなおすよう、献身的な活動に、万人が一致して、一人の人のように立ちあがるであろうというところに、かたい希望をよせることができる。このような献身的な活動がなければ、一人のこらず、あらゆる人々が大いに緊張して努力しなければ、生活を新しく建てなおす不屈の精神と決意がなければ、すべての労働者とすべての貧農のきわめて厳格な組織と同志的な規律がなければ、こういうことがなければ、活路はない。

わが党は、自分の力のおよぶことによって、なによりもまず、さまざまな階級のさまざまな地位と勢力について、意識を明晰にすることによって、諸君をたすける。この明晰な意識がなければ、組織はないも同然である。組織がなければ、幾百万人の行動は不可能であり、どのような成功もおぼつかない。

言葉を信用するな。約束に心をうばわれぬようにしよう。自分の力を過大視するな。各工場、各連隊、各中隊、各街区に、組織をつくれ。毎日、毎時間組織のことに取りくめ。自分で活動せよ。この活動を第三者のだれにも下請けさせてはならない。先進的な労働者にたいする大衆の完全な信頼が、しだいに、しっかりと、うちこわせないように、つくりあげられていくような活動を目指せよ。